

# 科学的特性マップ

2017年7月28日経産省資源エネルギー庁が公開したこのマップ。「地層処分を行う場所を選ぶ際にどのような科学的特性を考慮する必要があるのか、それらは日本全国にどのように分布しているか、といったことを大まかに俯瞰できるように、マップの形で示すもの」(参考資料①)だそうですが、これに関する新聞社説比較です。

158万部

## 科学的特性マップ 最終処分に至る第一歩だ

7月29日主張

緑色の範囲は国土の3分の1を占め、日本にも十分な適地があると納得できよう。

『緑色の範囲』  
「好ましい特性が確認できる可能性が相対的に高い」  
かつ「輸送面でも好ましい」エリア

原子力発電への賛否にかかわらず、処分が必要なHLWは既に発生し、存在している。その後始末は現世代の責任だ。将来世代への先送りは避けねばならない。マップは日本の理性を問うている。

『HLW』  
高レベル放射性廃棄物

895万部

## 地層処分マップ 科学的な理解を深める契機に

7月29日社説

「好ましい特性」を備える地域は、国土の7割近くに及ぶ。国内に適地はあるのか、と疑問を抱く人は少なくないだけに、マップを公表した意義は大きい。

この問題を解決できないと、原発に使用済み核燃料が滞り、稼働できなくなる。高レベル廃棄物の処分場選定は、次世代に先送りできない重要な課題である。地層処分により、どう安全性が確保されるのか。立地地域に、どのようなメリットがあるのか。自治体の前向きな姿勢を引き出すためには、高レベル廃棄物処分事業の全体像を正確に理解してもらうことが欠かせない。

272万部

## 核のごみ処分地をどう絞るか

7月29日社説

国は自治体や専門家らの意見をよく聞いたうえで、候補地の決め方や手順を詰め、事前に示すべきだ。立地段階になって風評被害が広がらぬよう、処分の安全性やリスクについて国民全体の理解を深めることも欠かせない。

マップを示したからといって急に国民の合意形成が進むわけではない。一定の期間、地上で「暫定保管」することも選択肢の一つだろう。その検討も進める必要がある。**核のごみの総量を一定に抑えることは処分場選定を前進させる重要な要素だ。**再稼働を進めれば核のごみは増え続ける。そのマイナスも考慮に入れ原発政策を考えるべきだ。

305万部

**処分すべき廃棄物の量の上限を定め、それ以上は原発を運転させないという考え方は検討に値する。**原発を守るために最終処分地を確保するというのでは、国民の理解は得られまい。

一時的な経済メリットで誘導するのではなく、納得を得る努力を尽くすことがますます大切になる。処分地選びは原発政策と切り離せない関係にあり、政策への国民の信頼がなければ進まない。福島事故で原発への信頼が失われた以上、政策の抜本的な見直しが欠かせない。

641万部

政府はこれで、誰に、何を伝えたいのだろうか。「適地」に色分けされた自治体を不安に落とすだけではないか。

受け入れをお願いするだけでなく、日本の原子力政策を根本から見直す姿勢を見せないと、国民的理解は到底得られず、たとえ十万年間“対話”を続けても、名乗り出るものは現れまい。

50万部

最後に一言

産経、読売、日経に欠ける視点は「処分する総量」の話です。いったいどれだけ処分すれば終わりなのか？をはっきりさせないと計画も何も始まらないはず。総量がわからないと、どれだけ土地を取得して、どれだけの規模の施設にするのか決まりません。とすると、処分にどれだけの体制や予算を用意すべきかの見積もりもできません。本来はそのお金も原発のコストに含まれるべきなのに、それは将来世代へ先送り。しかも、実際には再稼働でどんどん処分する量を増やしてゴールをますます遠ざけています。こんな政策を続けているうちは、まさに東京新聞の言う通り「たとえ十万年間“対話”を続けても、名乗り出るものは現れまい。」ってことです。

参考資料  
①経産省資源エネルギー庁HP 科学的特性マップ公表用サイト  
[http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity\\_and\\_gas/nuclear/rw/kagakutekitokuseimap/](http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/nuclear/rw/kagakutekitokuseimap/)

②全国紙の販売部数  
読売新聞広告局ポータルサイト 全国紙の都道府県別販売部数と世帯普及率<最新データ>  
(2016年7~12月平均)  
[http://adv.yomiuri.co.jp/yomiuri/mediadata/circulation/nationwide\\_3.html](http://adv.yomiuri.co.jp/yomiuri/mediadata/circulation/nationwide_3.html)

③東京新聞 (2016年1~6月)  
<http://www.tokyo-np.co.jp/approach/>